



イモチエースキラップ® 粒剤

粒剤で、穂いもち、紋枯れ、カメムシを同時防除！



穂枯れ



カメムシ類



葉いもち



穂いもち



紋枯病



カスミカメムシ類

斑点米カメムシ類に強い
キラップ粒剤で、
いもち病、穂枯れ、紋枯病も同時防除！



®はバイエルグループの登録商標

イモチエースキラップ®粒剤

農林水産省登録 第22078号

有効成分：エチプロール 2.0% / メトミノストロピン 4.0%

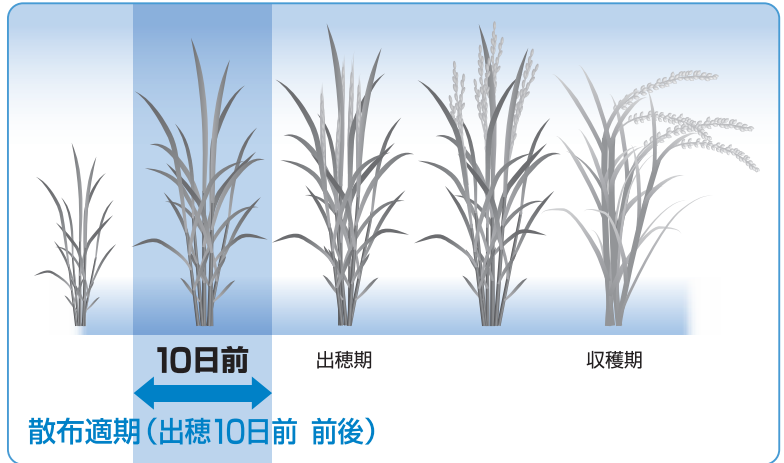
人畜毒性：普通物 (「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物
劇物に該当しないものを指している通称)



■ 特長

- ① 斑点米カメムシ類に対し優れた効果を示す新規殺虫剤エチプロールと、いもち病に優れた効果を示すメトミノストロピンの混合粒剤で、これらの病害虫の同時防除が可能です。
- ② 長い残効性を有しているため、安定した効果を示します。
- ③ 粒剤タイプなので、防除作業が軽減できます。
- ④ 飛散による周辺作物への影響の少ない薬剤です。

■ 上手な使い方



■ 適用病害虫の範囲および使用方法

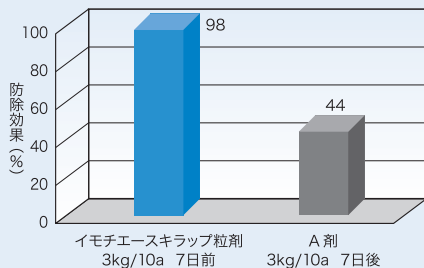
(2019年5月現在の登録)

作物名	適用病害虫名	10アール当り 使用量(kg)	使用時期*	使用回数*	使用方法
稲	いもち病・穂枯れ(ごま葉枯病菌)・ 紋枯病・ウンカ類・カメムシ類 変色米(アルタナリア菌) 変色米(カーブラリア菌)・墨黒穂病	3	35日	本剤のみ 1回 エチプロール 2回 (は種時(直播)または移植時までの処理は1回) メトミノストロピン 1回	湛水散布

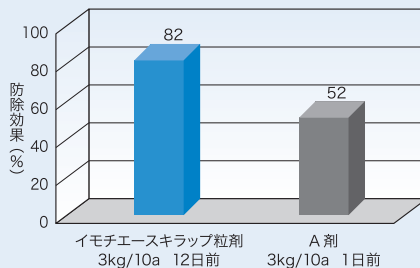
*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示します。

■ 効果試験(委託試験)

● カメムシに対する効果

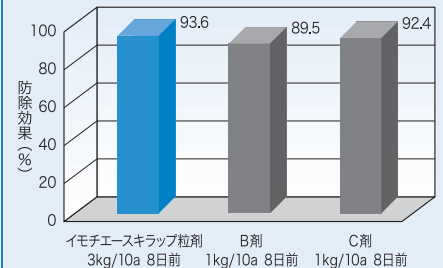


試験機関：山形県農業試験場
主要カメムシ種：アカヒゲホソドリカスミカメ、ホソハリカメムシ
試験場所：山形県山形市みのりが丘
処理月日：平成17年7月28日(出穂7日前)、対照薬剤は出穂7日後
調査月日：平成17年9月15日
調査方法：各区の6列目、8列目および10列目から10株ずつ、計30株を刈り取り、乾燥・調整後、精玄米10,000粒について斑点米を調査した。



試験機関：富山県農業技術センター
主要カメムシ種：アカヒゲホソドリカスミカメ、トゲシラホシカメムシ
試験場所：富山県富山市吉岡
処理月日：平成18年7月14日(出穂12日前)、対照薬剤は出穂1日前
調査月日：平成18年8月31日
調査方法：各区64株を刈り取り、乾燥・調整後、精玄米について斑点米を調査した(82727-86180粒)。

● いもち病に対する効果



試験機関：秋田県農業試験場
穂いもちの発生：中発生(接種)
試験場所：秋田県秋田市
処理月日：平成17年7月26日(出穂8日前)
調査月日：平成17年9月16日
調査方法：各区50株について穂いもち(ミゴ、穂首、枝梗いもち)により、穂の1/2以上が被害を受けたものを調査した。

■ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせて秤量し、使いきって下さい。
- 散布に当たっては、湛水状態(水深3~5cm)で均一に散布し、散布後少なくとも4~5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水およびかけ流しをしないで下さい。
- 本剤の使用により、稲の葉に褐点を生じる場合がありますので、所定の使用量を厳守して下さい。とくに急激な温度上昇が起こる気象条件下(フェーン現象等)では注意して下さい。
- 本剤を散布した水田の田面水を他作物の湛水に用いないで下さい。
- 穂いもちの防除を目的とする場合、その散布時期は出穂10~20日前が望ましいです。
- 蚕に対して影響がありますので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- ミツバチに対して影響がありますので、以下のことに注意して下さい。
 - ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにして下さい。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養

蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。

- 空袋は圃場などに放置せず適切に処理して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼしますので、養魚田では使用しないで下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収して下さい。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努めて下さい。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00
土・日・祝日を除く

(F-1125 19.05.1S)